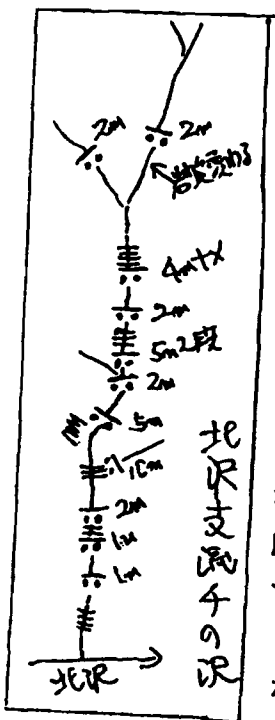


北沢支流チの沢

1989年7月8日



チの沢(仮称)は出だしから貧弱で、たいした滝もなかった。しかし、沢が右にカーブするところに5m滝がかかり、そのあと5m 2段滝と4mナメ滝が出てきて、小さな沢の割には、ワンポイントの変化をもっていた。

7:50遊行開始。10分程登ると、5m滝。ホールド多く、楽に直登する。そのあとすぐに5m 2段滝。シャワーで直登する。ホールドはあるが、割合と細かい。それにコケがついていて、スリップしやすいので、注意が必要だ。そのあと小さなナメと小滝をはさんで4mの滝。左岸を直登する。沢身は磨かれているが、兩岸ともに割合とホールドがある。ここまですがこの沢の核心部である。

核心部を過ぎると、あとは細い流れとなる。やがて花崗岩から黒い変成岩に変わる。そしてすぐに源頭となった。

[タイム] 遊行開始(7:50)→終了(8:20)

